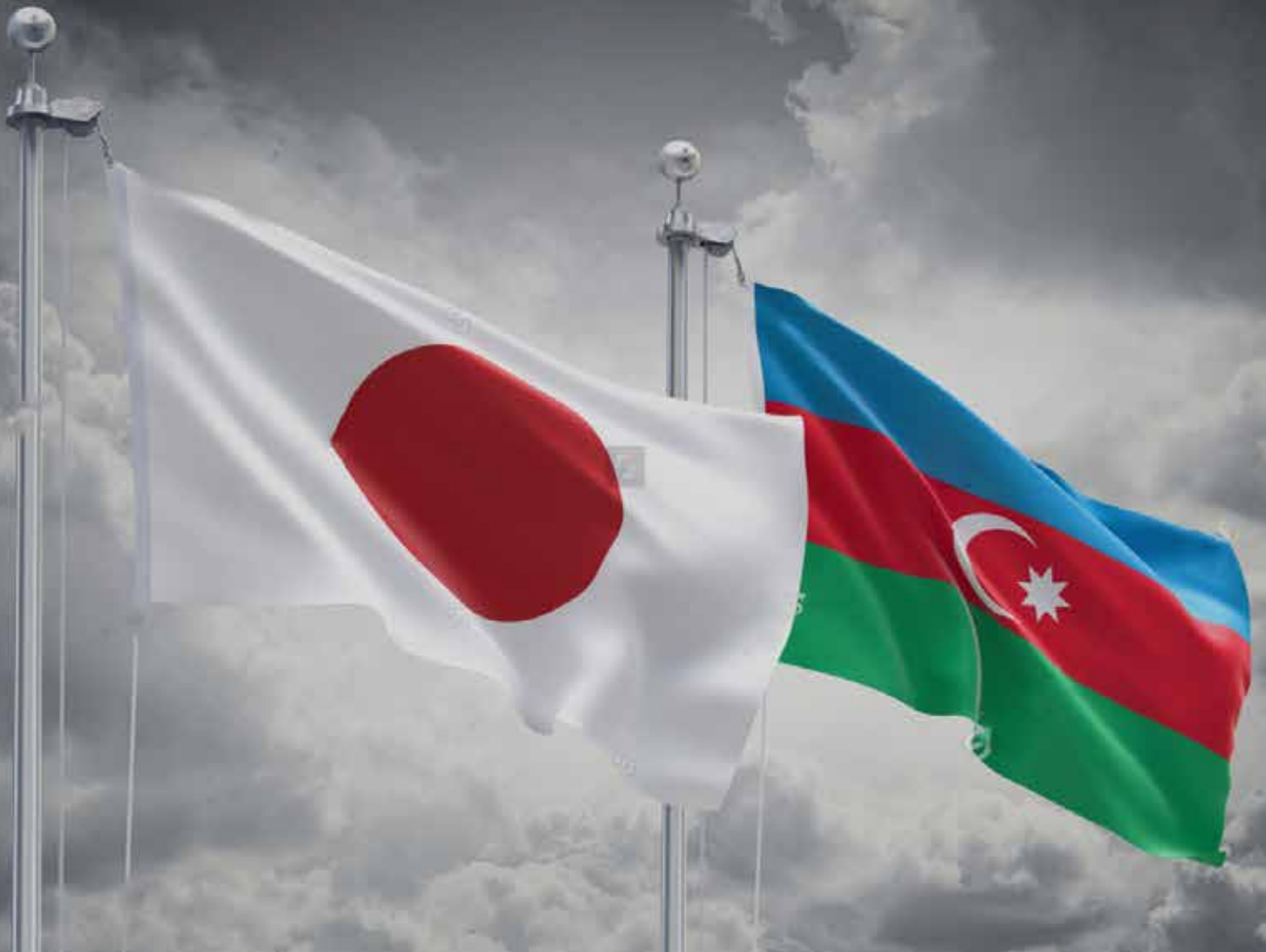


渡辺克也

在アゼルバイジャン日本国特命全権大使

# アゼルバイジャン の魅力を日本へ! そして世界に!

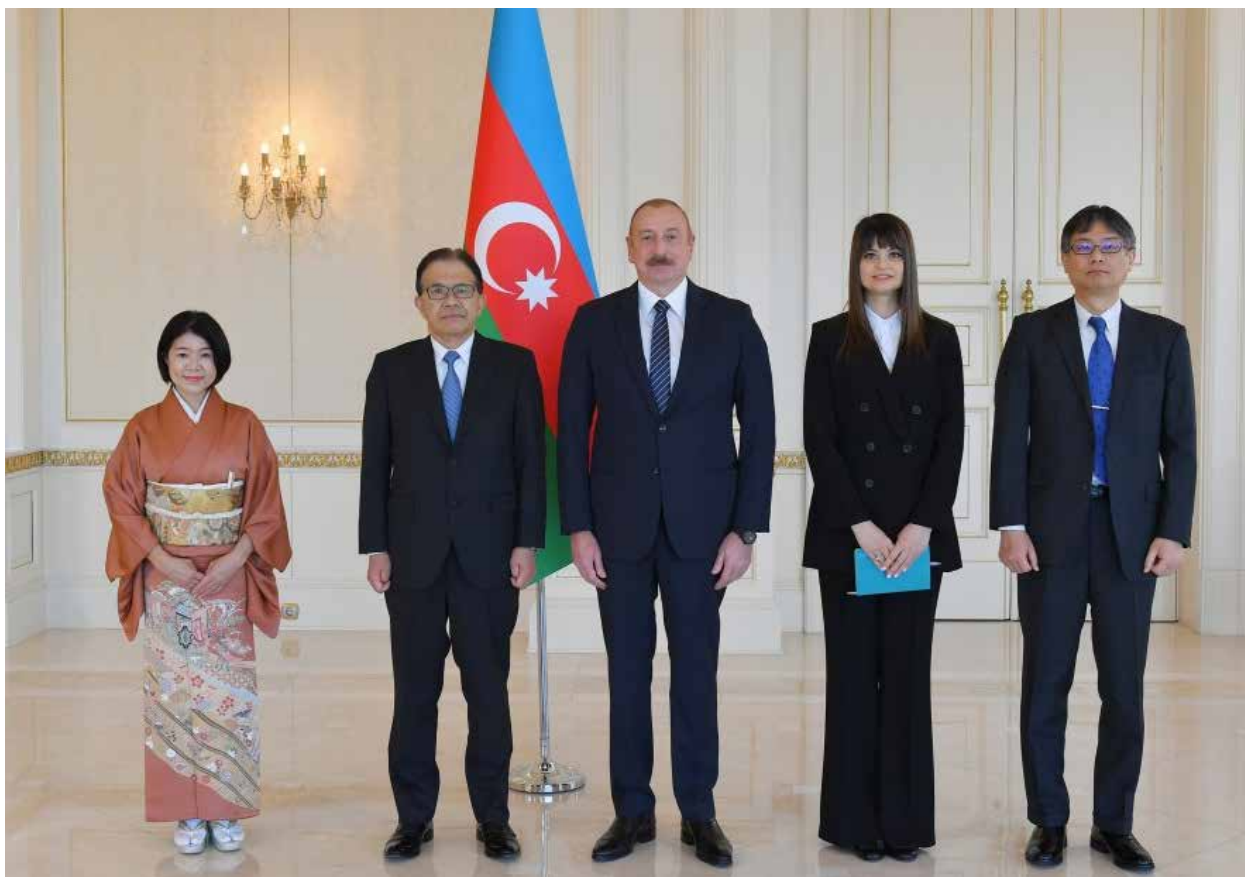


**在** アゼルバイジャン日本国特命全権大使の渡辺克也です。2023年の12月に当地に着任し、日々、アゼルバイジャンの豊かな文化、美しい自然、そしてあたたかな人々に囲まれながら、両国関係の発展に貢献できることを嬉しく思います。バクーをはじめ、これまで仕事やプライベートでの旅行も含め多くの地方を訪れる機会にも恵まれ、アゼルバイジャンの様々な魅力に気づかされる毎日です。

1992年の外交関係樹立以来、日本とアゼルバイジャンの二国間関係は、政治、経済、文化、教育、そして人と人とのつながりを含む様々な分野において、ハイレベルで発展してきました。2022年には外交関係樹立30周年を迎え、日本大使館では「日・アゼルバイジャン友好年」と銘打ち、日本文化、教育、スポーツ関連の多くのイベントを実施しました。これらはアゼルバイジャンの人々に日本のことをより身近に感じていただく



だけでなく、二国間関係のさらなる発展にも大きな貢献をしたと思います。日本にとって、アゼルバイジャンは大切な友人であるだけでなく、エネルギー安全保障等の観点から重要





せるアゼルバイジャンでのCOP29の開催は、今後のグリーン社会構築に向けた重要なステップとなりました。あらためて、そのホストとしてCOP29を成功に導いたアゼルバイジャン政府に敬意を表すとともに、こうした新たな分野においても日本とアゼルバイジャンで手を取りながら、「脱炭素社会」の早期の実現に向け努力を続けていけたらと思います。日本企業によるグリーン分野におけるプロジェクト実施

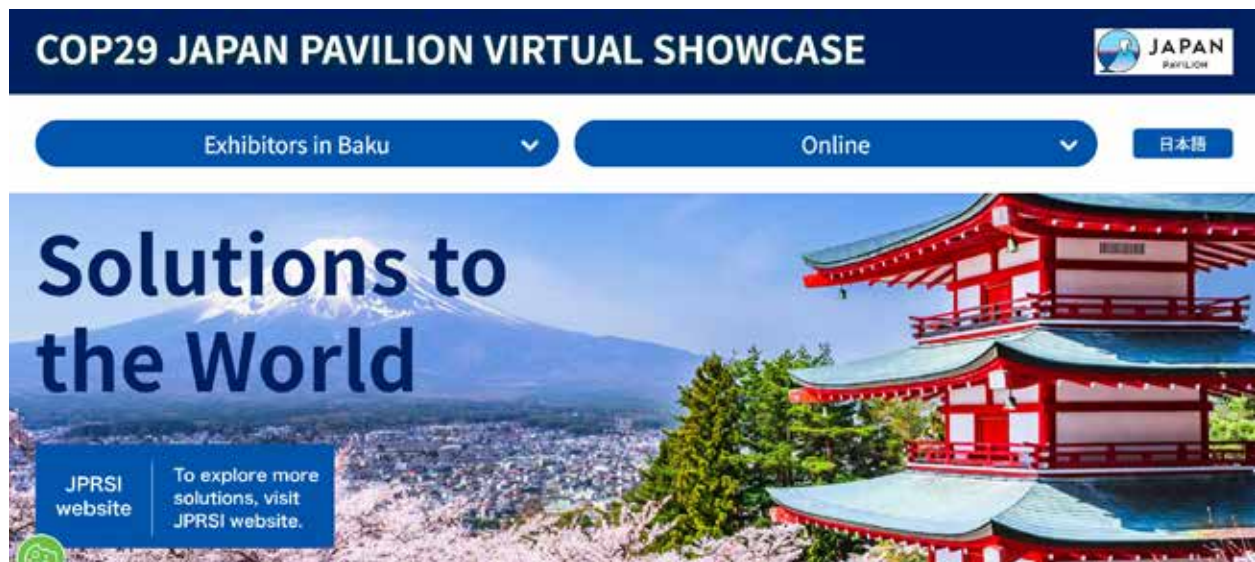
な国であり、これまで両国は信頼できるパートナーとしても共に歩んできました。

このように、これまで積み上げてきた両国の関係をより強固なものにしていくとともに、今後、さらに様々な分野においても両国の協力を発展させていくことが重要であると考えます。経済分野においては、INPEXや伊藤忠商事も参画するACG油田、BTCパイプラインの各プロジェクトが長らく継続していることに象徴されるように、これまで特にエネルギー分野での協力が発展してきました。今まさに環境問題への対応と持続可能な社会の創出が国際的課題となる中で、これらとエネルギーの確保、経済の発展を如何に両立していくかが今後の鍵となっています。その意味で、エネルギー資源産出国でありながら、グリーン成長への意欲的な取組を見

や投資等、両国間の経済活動の更なる活性化に繋がることにも期待しています。

いまや世の中に必須となったICTも、これからの日・アゼルバイジャン関係を考える上では重要な分野の一つです。グリーン社会の実現のためにも、ICTは極めて中心的な役割を担っています。日本として、その得意分野を生かし、ICTを用いたエネルギーマネジメントシステムや、スマートネットワークに代表されるICTシステム自身の省エネ技術等により、アゼルバイジャンのみならず世界のグリーン化に貢献していきたいと思います。私自身、これまで総務省においてICTを専門としその発展と普及に携わってきたことから、そうした経験を最大限に生かし、新たな可能性を切り開いていきたいと思います。





そのほか、観光分野も両国の関係を発展させていく可能性を秘める分野として注目しています。パンデミックの収束以降、ありがたいことに日本を訪れるアゼルバイジャンの方々が急速に増えています。ぜひとも、より多くのアゼルバイジャンの方々に日本を知ってもらいたいと思う一方、日本の方々にも素晴らしいアゼルバイジャンの魅力について知ってもらいたいと思います。そのためには、まずはアゼルバイジャンの魅力を、日本を含む世界に向けて積極的に発信していくことが重要です。放送コンテンツやソーシャルメディアを利用した発信、観光イベントや観光関係者に

向けたツアーの実施等、両国の観光促進に向け、可能な協力について模索していきたいと思っています。

日本とアゼルバイジャンの関係には、まだまだ多くの可能性が秘められています。2025年に日本で開催される大阪・関西万博には、アゼルバイジャンもパビリオンを設け参加することが予定されており、両国の交流が一層進むことが期待されます。今後の日・アゼルバイジャン関係のさらなる発展を願うとともに、その実現のため力を注いでいきたいと思っています。✿



Republic of Azerbaijan

